



株式会社筑水キャニコム Kaneyuki Yoshimitsu

代表取締役社長 包行 良光

東北リース株式会社 Kanno Hiroaki

代表取締役会長CEO 菅野 浩昭

国内大手の運搬車メーカーの筑水キャニコム。「草刈機MASAO」などユニークなネーミングの製品をつくる同社の包行社長が、宮城の地場レンタル会社・東北リースの菅野会長と今後の展望について語り合った。



林内作業車「フォワードやまびこレインジャー」

売れないものは売れるように育てる
菅野 20年前から御社の草刈機を取り扱っていますが、取引を続ける中で御社のものづくりへのこだわりを強く感じています。現場の最前線でユーザーへヒアリングしているので信頼性が高く、弊社が扱う草刈機は100軒御社の商品となります。
包行 ありがとうございます。弊社の製品の大きな特徴としてネーミングがあります。使用者にとっても開発者

時代に合わせて変化を楽しむ会社

菅野 本日はお忙しい中、貴重なお時間をいただきありがとうございます。御社はこれまで創立から66年と長い歴史を積み重ねてきた会社ですよね。

包行 そうですね。弊社は福岡県うきは市の筑後川沿いに本社を構える製造会社です。創業者は祖父になりますが、もともとは刀鍛冶の18代目でした。軍刀を作る刀鍛冶として戦争に携わっていて、最終的に人を生かす仕事がしたいということになって、鎌やカルチ

ベーターなどの農業用機具をつくる包行農具製作所が始まりました。その後農業用の運搬車が中心となり、現在は土木運搬車や乗用草刈機なども取り扱っています。主に小型運搬車が主流になりますが、66年の中でニーズに合わせて主力製品は常に変遷してきました。

た。大型建機については、コストや技術面の問題から開発が約10年ストップしていた時期もあり、その時代時代の判断が正しかったかどうかは今でも分かりません。新しいことを始めるか、今の分野だけで続けていくかという葛藤はずっと続いていくでしょう。われわれは変化を楽しむ会社ですから。

ものづくりは演歌だ

菅野 御社の製品はユーザーから期待以上という声も多いですが、商品開発に当たってどういう意図をお持ちでしょうか。

包行 弊社には「ものづくりは演歌だ」という言葉があり、お客さまに寄り添うものづくりを第一にしています。演歌はもともとお客さまのリュクエストに答えるもので、われわれのものづくりも演歌に通じるところがあります。こうしてほしいというようになちよ

にとっても愛着の持てるような製品を目指していて、自分の子どものように責任を持って製品に向き合っています。草刈機分野に参入した当時、従来の取引先である農業用販売店にはなかなか売れませんでした。御社などのレンタル会社に卸すことで売れるようになったという経緯もあり、売れないものは売れるように育てるといっては会社の系譜でもありますね。

菅野 今後の事業展開についてはどうお考えでしょうか。

包行 電動化を視野に入れていきます。海外では展開しているものもありますが、日本の現行法ではものづくりに制限があります。よりお客さまのニーズに答えるために国へ要望を出し続けていくつもりです。また、東北への展開についていえば、現在果樹園に特化した製品の開発を進めており、今後は青森にスポットライトを当てていこうと考えて

います。以前は農業系の運搬車の企業は30社ありましたが、現在は4社になりました。われわれが生き残ったのもその土地ごとの要望に応えた結果だと思っております。今後大切にしていきたいです。

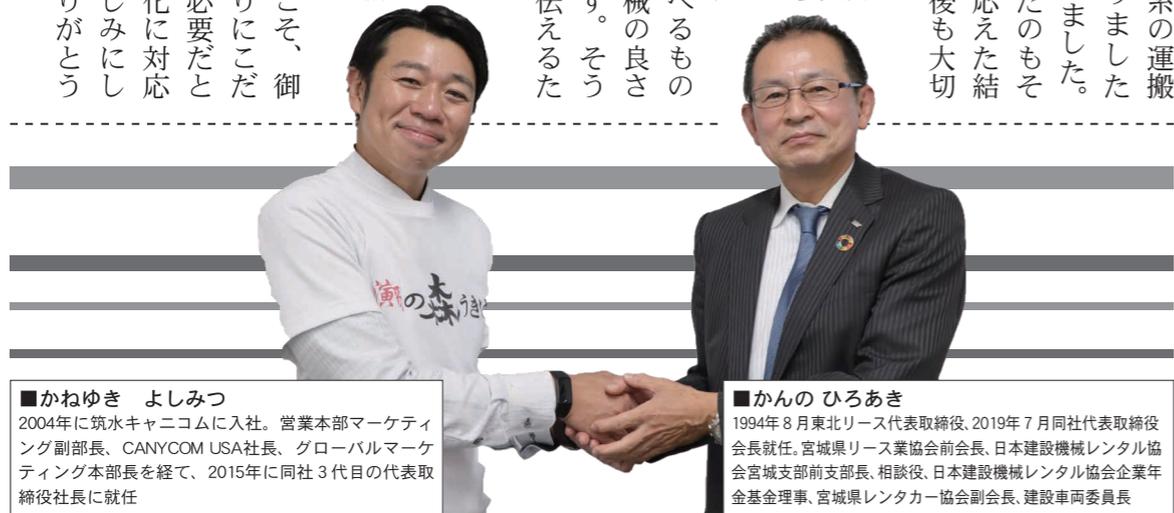
菅野 われわれの使命はお客さまに必要な商品を提供することです。御社の製品は世界にも肩を並べるものですが、まだまだ機械の良さを知らない人もいます。そうした人たちに良さを伝えるため、実演会やデモン

ストレーションなどで幅広く知ってもらいたいという方向で協力できればと思います。今の時代だからこそ、御社のようなものづくりにこだわりを持った会社が必要だと思えます。時代の変化に対応する御社の躍進を楽しみにしています。本日はありがとうございます。



乗用雑草刈車「Hey Masao」

とした「ボヤキ」に耳を傾け、われわれの商品を使うことで少しでも楽になってもらえればと思います。作業を止めないというのも一つのポイントで、機械のトラブルで作業が止まってしまうというのはメーカーとしてあってはならないことです。長時間使用できるような燃料タンクも大きくしており、生産性の向上につなげています。また、お客さまの方でも新しいものを使うことで新しい発見をしてほしいですね。



■かねゆき よしみつ
2004年に筑水キャニコムに入社。営業本部マーケティング副部長、CANYCOM USA社長、グローバルマーケティング本部長を経て、2015年に同社3代目の代表取締役社長に就任

■かんの ひろあき
1994年8月東北リース代表取締役、2019年7月同社代表取締役会長就任。宮城県リース業協会前会長、日本建設機械レンタル協会宮城支部前支部長、相談役、日本建設機械レンタル協会企業年金基金理事、宮城県レンタカー協会副会長、建設車両委員長